



## 開館20周年を迎える今年 安曇野ちひろ美術館では、 「子ども」をテーマにした 展覧会を開催します。

展示室1 走る!跳ねる!ちひろ・子ども百態

展示室3・4 ちひろ美術館コレクション 子どもの世界・世界の子ども

生涯子どもを描き続けたいわさきちひろ。ちひろが描く子どもやあかちゃん、いのちの尊さや平和の大切さを語りかけてきます。世界の絵本画家たちもまた絵本のなかで、子どもたちへの思いをさまざまに表現してきました。開館20周年を迎える今年、安曇野ちひろ美術館では、絵本の大切なテーマである「子ども」に焦点をあてた展覧会を開催します。

平和なくらしがある一方で、世界には内戦や紛争、貧困にさらされた子どももたくさんいます。家族や友人とのなかで孤立に悩む子どももいます。このような時代だからこそ、ちひろと世界の絵本画家たちの作品を通して、今を、そして未来を生きる子どもたちのことを考えていきたいと思います。



1-1, いわさきちひろ  
ローラースケートをする少年 1970年

### 躍動するいのちを描く

「子どもの肢体の魅力はかぎりない」と語ったちひろは、躍動感あふれる子どもの姿を、その作品のなかにいきいきと描き出しています。32歳のときに息子をもうけてからは、日々成長していくわが子やその友だちの姿を日常的にスケッチに描き留め、どのような格好もモデルなしで描くことができると語るまでになります。ちひろは、母親としての愛情と、画家としての卓越したデッサン力によって、子どもたちのあらゆる姿を画面に定着することに成功した稀有な画家でした。動きをとらえることは、生命そのものともいえる子どもの本質を描くことにもつながります。本展では、初期のスケッチや育児書のカット、教科書、絵本『となりにきたこ』や『ぼちのきたうみ』などを展示し、ちひろが描く子どもの動きの表現に注目します。

### <開館20周年記念 II>

## 走る!跳ねる!ちひろ・子ども百態

2017年5月13日(土)～7月4日(火)



1-2, いわさきちひろ 垣根ごしにのぞく子ども『となりにきたこ』(至光社)より 1970年

展覧会名 <開館20周年記念 II>走る!跳ねる!ちひろ・子ども百態

会期 2017年5月13日(土)～7月4日(火)  
○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=6月28日(水)

会場 安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金 大人800円/高校生以下無料  
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は700円/障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円

主催 ちひろ美術館

## 展覧会の見どころ 1) さまざまな線の表現

ちひろは画家として活躍を始めた1940年代後半から、膨大な子どもの姿を鉛筆やペンなどによる線で表現してきました。1970年には、絵本『となりにきたこ』でパステルを線描に用いるという新たな試みに挑戦します。細い線を引くのには向かないパステルを用いることで、ちひろの線はより伸びやかなスピード感のあるものになりました。同じ年、社会科の副読本「たろうとはなこ」では、流麗な鉛筆線で子どもの日常をいきいきととらえています。

## 2) 育児書のカット

1967年に手がけた『育児の百科』では、月齢別、年齢別にそれぞれの成長の段階に沿うようなカットが求められました。ちひろは保育園にも取材に出かけ、スケッチを重ねることで10か月と1歳のあかちゃんのちがいを描き分ける技量を身に付けます。あらゆる子どもの肢体を描いた育児書の作品群からは、まさに子ども百態が楽しめます。



1-3, いわさきちひろ 『育児の百科』より 1967年

## 3) 筆勢による後期の水彩表現

パステルによる大胆な線描表現は、ちひろの後期の水彩画にも大きな変化をもたらしました。1973年の『ぼちのきたうみ』では、太い筆を使い、勢いのある大胆な筆のタッチで、躍動する子どもの姿を一气呵成に描き留めています。生命力に満ちた動きの表現からは、最晩年のちひろの到達点が見えてきます。

出展作品数 約100点

主な出展作品 『となりにきたこ』(至光社)より 1970年、「たろうとはなこ」より 1970年、『ぼちのきたうみ』(至光社)より 1973年、『ひとりのできるよ』 1956年、『母さんはおるす』(新日本出版社)より 1972年、『育児の百科』より 1967年 ほか

## 関連イベント

### ●のびのび楽しむ リトミック体験

音楽を全身で感じ、楽しく体を動かすリトミック。親子でふれあひながら、のびのびと楽しみましょう。

日時：6月17日(土)①10:00～10:40幼稚園児(4～6歳) ②11:00～11:40小学校低学年(1,2年生)

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー 参加費：ひとり500円(入館料別)

定員：各回 親子15名(先着順) 講師：井上美和子(音楽室ココントア主宰)

申し込み：要事前予約(ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772にて)

\*6月10日(土)には、安曇野ちひろ公園のトットちゃん広場・トモエの講堂でもリトミック体験(対象年齢：2歳未満)を行います。

### ●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、学芸員が展示のみどころなどをお話します。

日時：毎月第2・4土曜日 14:00～14:30 会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1

料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



1-4, いわさきちひろ  
すもうをとる子ども 1964年頃

## 図版について

本リリリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

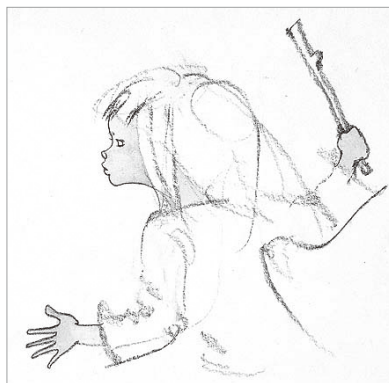
ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



1-5, いわさきちひろ 桜の花びらを見つめる子ども 1968年



1-6, いわさきちひろ 小枝をふりあげる少女  
『母さんはおるす』(新日本出版社)より 1972年



1-7, いわさきちひろ 小犬を抱く少女  
『ぼちのきたうみ』(至光社)より 1973年



<開館20周年記念 II>

ちひろ美術館コレクション 子どもの世界・世界の子ども

2017年5月13日(土)～7月4日(火)



2-2, キアラ・ラバッチーニ(イタリア) 『ねえ こっちむいて!』(小学館)より 1998年



2-1, 武田美穂 『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より 1991年

古今東西の子どもたち

世界33の国と地域、204名の画家たちによる約26,900点を収蔵するちひろ美術館コレクション。歴史や文化、環境、社会情勢などの異なる地域で、世界の絵本画家たちは「子ども」をどのようにとらえ、描いてきたのでしょうか。

本展では、コレクションのなかから「子ども」をテーマに選出した、1950年代から2000年代までの作品約100点を展示します。古今東西の絵本のなかに描かれた、地域や時代を越えて共通する子どもたちの夢や心情、また、子どもたちの姿を通して映し出される社会情勢や国の歴史などに焦点をあてながら、作品の魅力を紹介します。



2-3, 西巻茅子 『わたしのワンピース』(こぐま社)より 1969年



2-4, クラウディア・レニャッツィ(アルゼンチン) 『わたしの家』より 2001年

展覧会名	<開館20周年記念 II> ちひろ美術館コレクション 子どもの世界・世界の子ども
会期	2017年5月13日(土)～7月4日(火) ○開館時間=9:00～17:00 ○休館日=6月28日(水)
会場	安曇野ちひろ美術館 展示室3・4
料金	大人800円/高校生以下無料 団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は700円/ 障害者手帳ご提示の方は400円、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料/年間パスポート2500円
主催	ちひろ美術館



## 展覧会の見どころ 1) 世界各国の子どもたちの姿

家族や友だちとの関わりを通して、人格や個性が形成され、社会性を学ぶ子ども時代。

隣の席になった少女と少年の心情をテーマにした人気シリーズ『となりのせきのますだくん』(日本)や、忙しく働く両親の関心を得たい子どもたちの奮闘を描いた『ねえ こっちむいて!』(イタリア)など、世界の絵本には、子ども特有の繊細で多感な心情をテーマに描かれた作品があります。

## 2) 社会のなかの子ども

子どもたちを取り巻く社会情勢は、国や地域によって異なり、その生活や人生に大きな影響を与えます。軍の圧制を受けて過ごした少女時代の経験から生まれた『わたしの家』(アルゼンチン)、朝鮮戦争の歴史を描いた『またいとこ』(韓国)など、その多感な心で何を感じ、状況と向き合ってきたか、社会のなかの子どもたちの姿を映し出す作品を紹介します。

出展作品数 約100点

主な出展作品 武田美穂 『となりのせきのますだくん』(ポプラ社)より 1991年、杉浦範茂 『まつげの海のひこうせん』(偕成社)より 1983年、キアラ・ラパッチーニ(イタリア) 『ねえ こっちむいて!』(小学館)より 1998年、クラウド・レニャッツィ(アルゼンチン) 『わたしの家』より 2001年、パク・チョルミン(韓国) 『またいとこ』より 2003-2004年、西巻茅子 『わたしのワンピース』(こぐま社)より 1969年、クラウス・エンツィカート(ドイツ) 『4人の子ども、世界をまわる』より 1990-1992年 ほか

## 関連イベント ●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、学芸員が展示のみどころなどをお話します。

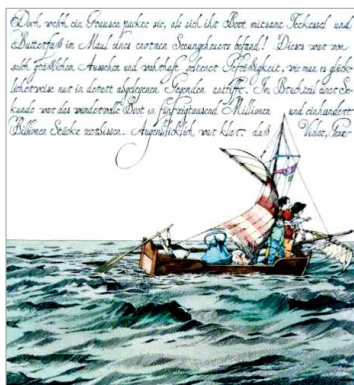
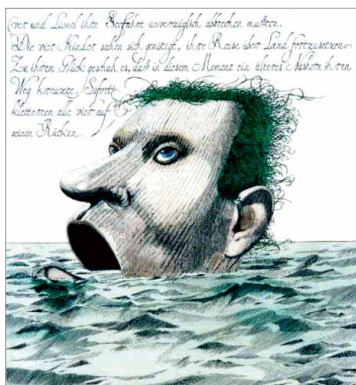
日時：毎月第2・4土曜日 14:30～15:00 会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4 料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

図版について 本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「プレス用作品画像データ借用・誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。 ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。 ※掲載紙/誌をご送付ください。



2-5



2-6



2-7

2-5、クラウド・エンツィカート(ドイツ)  
『4人の子ども、世界をまわる』より 1990-1992年  
2-6、杉浦範茂 『まつげの海のひこうせん』(偕成社)より 1983年  
2-7、パク・チョルミン(韓国) 『またいとこ』より 2003-2004年



## ファーストミュージアムデー あかちゃんとお楽しみ安曇野ちひろ美術館

6月3日(土) 10:30～11:30

生まれてはじめて訪れる美術館—ファーストミュージアム—として、あかちゃん絵本のおはなしの会や、子どもとお楽しみガイドツアーなど、安曇野ちひろ美術館を親子でゆったりお過ごしください。

料金：無料(入館料別) 定員：親子10組 対象：0～2歳と保護者  
申し込み：要事前予約(ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772、美術館受付にて)

40<sup>th</sup> ANNIVERSARY 20<sup>th</sup>  
TOKYO・AZUMINO

2017年、ちひろ美術館・東京は40周年、安曇野ちひろ美術館は20周年を迎えました。



井上美和子  
国立音楽大学音楽教育学科卒。リトミック音楽教育研究所 所員。ヒロ・ミュージックスクール・リトミックコース主任、NHK文化センター前橋教室 子供のリトミック講座講師。また、ヴォーカリストとしていくつかのCD、舞台作品などに参加。



展示関連イベント

## のびのび楽しむ リトミック体験

6月17日(土) ①10:00～10:40 幼稚園児(4～6歳)  
②11:00～11:40 小学校低学年(1,2年生)

音楽を全身で感じ、楽しく体を動かすリトミック。親子でふれあいながら、のびのびと楽しみましょう。

会場：安曇野ちひろ美術館 多目的ギャラリー 料金：ひとり500円(入館料込)  
定員：各回 親子15組 講師：井上美和子(音楽室ココンタ主宰)  
※動きやすい服装でお越しください。裸足になり体を動かします。  
申し込み：要事前予約(ちひろ美術館HP、TEL.0261-62-0772、美術館受付にて)

6月10日(土)には、安曇野ちひろ公園のトットちゃん広場・トモエの講堂でもリトミック体験を行います。対象年齢：未就園児

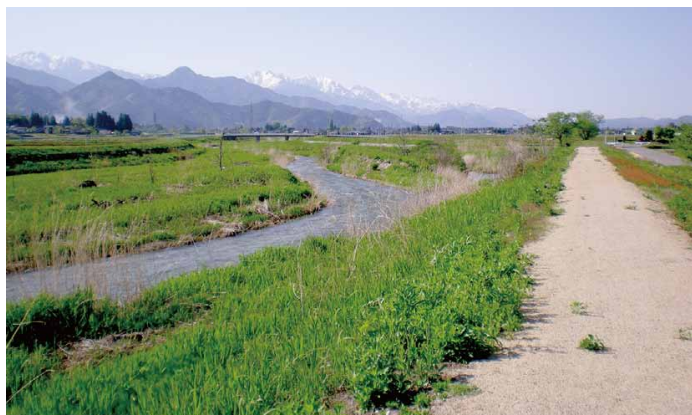
展示関連イベント

## ちひろが愛した安曇野・まつかわ 北アルプスパノラマウォーク・春

5月27日(土) 9:00～13:00

ちひろが松川村の風景を描いたスケッチポイントや、村内に点在する神秘的な遺跡などをめぐるウォーキングイベントです。松川村の地元ガイドによる案内や、美術館スタッフによる解説のほか、おもてなしもあります。北アルプス連峰が水田に映り込んだ絶景を望む8kmのウォーキングコースをお楽しみください。

主催：松川村観光協会 協力：安曇野ちひろ美術館  
参加費：ひとり1000円(保険料含む)  
定員：100名(要申し込み) 5月23日(火) 松川村観光協会 TEL.0261-62-6930



## 安曇野ちひろ美術館20周年！おめでとう20歳！

開館20周年を迎える2017年、美術館と同じ20歳の方は特別に入館無料です。※生年月日のわかるものを受付でご提示ください。

国際博物館の日 5月18日(木) この日はどなたでも入館無料です。

## 入館無料デー

日ごろの感謝を込めて、美術館の近くにお住まいのみならず、入館無料でお楽しみいただけるご優待日を設けました。お誘いあわせのうえ、ご来館ください。

5月21日(日) 松本市民入館無料デー  
6月 4日(日) 大町市民入館無料デー  
6月18日(日) 安曇野市民入館無料デー



## ●ギャラリートーク

展示室で作品を見ながら、学芸員が展示のみどころなどをお話します。  
日時：毎月第2・4土曜日 14:00～走る！跳ねる！ちひろ・子ども百態展  
14:30～ちひろ美術館コレクション  
子どもの世界・世界の子どもの展  
参加費：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)

## ●おはなしの会

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせや素話を、親子でお楽しみください。  
日時：毎月第2・4土曜日 11:00～11:30  
会場：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋  
料金：無料(入館料別) 申し込み：不要(参加自由)



撮影：橋本裕貴

### 次回展示のご案内

7月8日(土)～9月12日(火)

<開館20周年記念 Ⅲ>

- いわさきちひろの歩み
- <企画展>日本の絵本100年の歩み
- ちひろ美術館コレクション 貼る！コラージュの絵本

会期中の休館日=7/26(水)  
※11/8より、工事のため冬期休館